

児童生徒の心理や行動を測定し 理解を深めるお手伝いをします



現代教育課題研究コース（発達と教育連携領域）
心理学系研究室からの提案

■こんな疑問や要望 ありませんか？



当校の子どもたちは自己肯定感が低い気がするけれど、ほんとうのところはどうなのだろう？



ゲームの時間が長い子ほど、成績が低い気がするが、実際、関連はあるのかな？



今度、全校あげて生徒の社会性向上に取り組むが、それにより生徒がどう成長するか、きちんと知りたい

■心理学の立場から

私たちは**心理学**の立場から、**児童生徒の心理や行動の客観的測定法を提案、実施、分析**し、先生方が児童生徒理解を深めるお手伝いをします。

エビデンスにもとづく教育が強調されている昨今、児童生徒の心理や行動を、客観的に測定し理解することは、とても重要です。しかし、心理面の測定は一筋縄ではいきません。子どもならなおさらです。

質問紙や行動チェックリスト、行動観察、インタビューなど、心理学では様々な測定法を工夫しています。これらに先生方の願いや思いを反映させながら、**学校の実態に即した方法で測定を行い、その結果を先生方とともに読み解いていきたい**と思います。

（*対象は児童生徒に限りません。教員や保護者などを対象とした測定も可能です。）

■想定される支援例

- ① 先生方への聞き取りや日常の児童生徒の観察から、実態にあった測定方法や質問項目を選定・提案し、実施します。
- ② 生活習慣と成績との関係、友人関係と自己肯定感との関係など、これまで学校で蓄積してきたデータを活用しながら、これらの関連性を探ります。
- ③ 休み時間の行動観察など、先生方の目の届きにくいところでの、“気になる”子どもの様子を見守ります。
- ④ 児童生徒個人や学級集団の変化・成長の様子をデータ化し、分析します。

■私たちの専門分野

基本的に、**児童生徒の心理や行動に関する内容であれば幅広く対応できます**が、参考までに各教員の専門分野をお知らせします。



越 良子

学級の間人関係、学級集団、学校適応、教師の指導行動、子どもの自己評価



角谷 詩織

子どもの発達・適応、部活動の意義と課題、ギフテッド児の理解と支援



内藤 美加

認識（言葉、概念、記憶力など）の発達、社会性、発達に障害をもつ子どもの理解



中山 勸次郎

動機づけ（学習意欲）、自己効力感、自尊感情、対人関係